

砂沼親子マラソン大会

11月19日、砂沼の遊歩道を駆け巡る「砂沼親子マラソン大会2023」が開催されました。この大会は、「子ども」が主役の大会として昨年から実施しているものです。

当日は、年中児から中学生までの子どもと保護者501人が、年齢ごとや親子の組み合わせなど、部門ごとに分かれて競い合いました。

沿道での温かい拍手と声援が贈られる中、親子で手をつないで、嬉しそうに走る子どもたちや、険しい表情で走る親子の姿などが見られました。

問 生涯学習課



下妻駅前フェスティバル しもつまMaaSの取り組み

11月23日、下妻駅前において「下妻駅前フェスティバル」が行われました。

このイベントは、参加者がデジタル決済やしもつまMaaS*の取り組みを体感することを目的として行われました。地元企業など13の飲食店などが出店、参加者はそれぞれデジタルチケットなどで支払いをしていました。

また、イベント会場から天然温泉と地ビールを楽しめる複合施設「ピアスパークしもつま」や「下妻市観光交流センター さん歩の駅サン・SUN さぬま」など下妻市内を無料で周遊できる「無料周遊バス」の運行や、次世代モビリティとして電動キックボードの利用体験会を開催するなど、MaaSを体感できるよい機会となりました。

*MaaS(マース：Mobility as a Service)とは、複数の公共交通やモビリティを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括して行えるサービスのことです。

問 企画課



高めよう。地域の防災力



令和5年度 下妻市総合防災訓練を実施

11月26日、令和5年度下妻市総合防災訓練をフィットネスパーク・きぬ多目的第二グラウンドをメイン訓練会場として、また、千代川中、宗道小、大形小学校の体育館及びやすらぎの里しもつまを避難訓練会場として実施し、市民や関係機関の関係者ら約1000人が参加しました。

メイン会場訓練では、市民が参加しての放水訓練、要支援者搬送訓練、救命訓練などの区分訓練の後に、消防、消防団、警察、自衛隊や地元医師会、ドローン協会や市民等による情報伝達訓練及び人命救助訓練や婦人防火クラブと自衛隊の合同による炊き出し訓練などが実施されました。さらに体験コーナーでは、大声・浮き輪投げ体験や、大雨体験、梯子車体験、自衛隊車両体験試乗、放水・救命コーナーなどに多くの市民が楽しく防災を学びました。



浮き輪投げ体験

溺れている人に対して、ペットボトルを浮き輪代わりに使用することを学びました。



心臓マッサージを行う参加者

心臓マッサージは1分間に100~120回の早いテンポで絶え間なく圧迫します。



傷病者の運送訓練

自治区住民など2~3人で1組になり、運送訓練を行いました。



段ボールベッドの作成

自治区住民が協力し合い、避難所で使用する段ボールベッドを作成しました。